

2024年度事業計画書

1. 教育・研修事業（現行：中小企業従業員に対する海外派遣事業）

これまで、中小企業従業員の教育・研修を目的として海外派遣事業を実施してきたが、2020年度より新型コロナウイルスの影響により実施を見送っている。

また、感染症や地政学的リスクの高まり、円安、渡航費の高騰等により研修目的での海外渡航に対して、企業側も慎重な姿勢を示している状況である。

このため、より広く一般の人々を対象とした教育・研修事業として、金融資料室を活用し、金融・経済・千葉県の歴史・発展等を楽しく学ぶことができる教育プログラムを新たに構築し、子どもから大人まで幅広い年齢層を対象とした教育・研修事業を安定・継続的に実施することを目指す。（2024年度、公益認定審査会申請予定）

(1) 金融及び千葉県に関する教育

イ. 金融資料室をベースに、金融及び千葉県に関する教育イベントを実施

○春・夏・冬休み等に、金融・経済を学ぶイベントを開催する。

ロ. 金融資料室で常時教育プログラムを実施

○イベント日以外でも、金融・経済史を学習できるスタンプラリーなどのプログラムを常時可能とする。

○金融資料室の展示物を使って千葉県の発展の理解を深めるプログラムも備え置く。

(2) 中小企業従業員に対する海外派遣

○本年度の実施は、一旦見合わせることにし、上記新事業の構築に注力する。

2. 文化芸術振興事業（現行：県内幼稚園でのオーケストラ公演事業）

これまでの幼稚園に限定したオーケストラ公演事業に加え、千葉県に所縁のある音楽家や画家の公演・展示などを実施し、広く一般の方々に鑑賞していただき、より公益性の高い事業とする。（2024年度、公益認定審査会に申請予定）

(1) 県内の幼稚園・こども園へのオーケストラ等派遣公演

公益財団法人千葉県文化振興財団との共催事業

開催園数：20園（オーケストラ16園、和楽器4園）

公演時期：2024年11月～2025年3月

助成金額：4,000千円

公演のダイジェスト動画をYouTubeで配信し、園児の家族や一般の方々にも視聴いただき、財団の社会貢献活動を理解していただくよう努める。

(2) 文化芸術公演・展示会の実施

クラシックコンサートや美術展の開催、協賛を通じて、広く一般の方々に鑑賞していただき、文化芸術の振興に寄与する事業を拡大する。

3. 「ちばぎん金融資料室」の管理運営事業

昨年5月に、ちばぎん本店ビルのグランドオープンに合わせて営業を再開。

営業日：月～金曜日（銀行営業日と同一、土・日・祝日・年末年始休業）

営業時間：9～17時

受託料：年間3,000千円

金融資料室は、現在は千葉銀行から委託を受けている収益事業としての位置付けであるが、リニューアルで子供向け教育コンテンツが増加し、金融を学ぶ不特定かつ多数の者への利益に寄与する施設となっている。当財団が主体となって運営管理を行っていることから、上記1の事業の一部として公益事業への転換を図っていく。

4. 福祉目的の貸付金の管理・回収業務

2024年3月末残高見込	1,700千円
2024年度回収額	400千円
2025年3月末残高見込	1,300千円

2024年度資金調達及び設備投資の見込み

1. 資金調達の見込みについて 当期中に資金調達の予定はありません。
2. 設備投資の見込みについて 当期中に重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定はありません。

以上